むくげ通信 302 号 ２０２０．９．２７

歌・ノレ・노래 １７７－１

『畑に 行こう』（上）

山根 俊郎

抒情歌謡『畑に 行こう』

この『畑に 行こう』は、解放直後の 1947 年に北朝鮮で最初に創作された抒情歌謡である。

1946 年は『金日成将軍の歌』や『産業報国の歌』など人民委員会の政策・理念など政治的な歌のみが作られた。翌 1947 年になり、この歌のように‘農作業に出かけよう’という民謡的な農民の情緒を歌う抒情的な歌も創作され始めた。

原題は『畑打ち打令』（ﾊﾟｯｶﾘ ﾀｰﾘｮﾝ・밭갈이 타령 1947 年作詞韓鳴泉〔ﾊﾝ・ﾐｮﾝﾁｮﾝ〕、作曲咸弘根〔ﾊﾑ・ﾎﾝｸﾞﾝ〕）である。

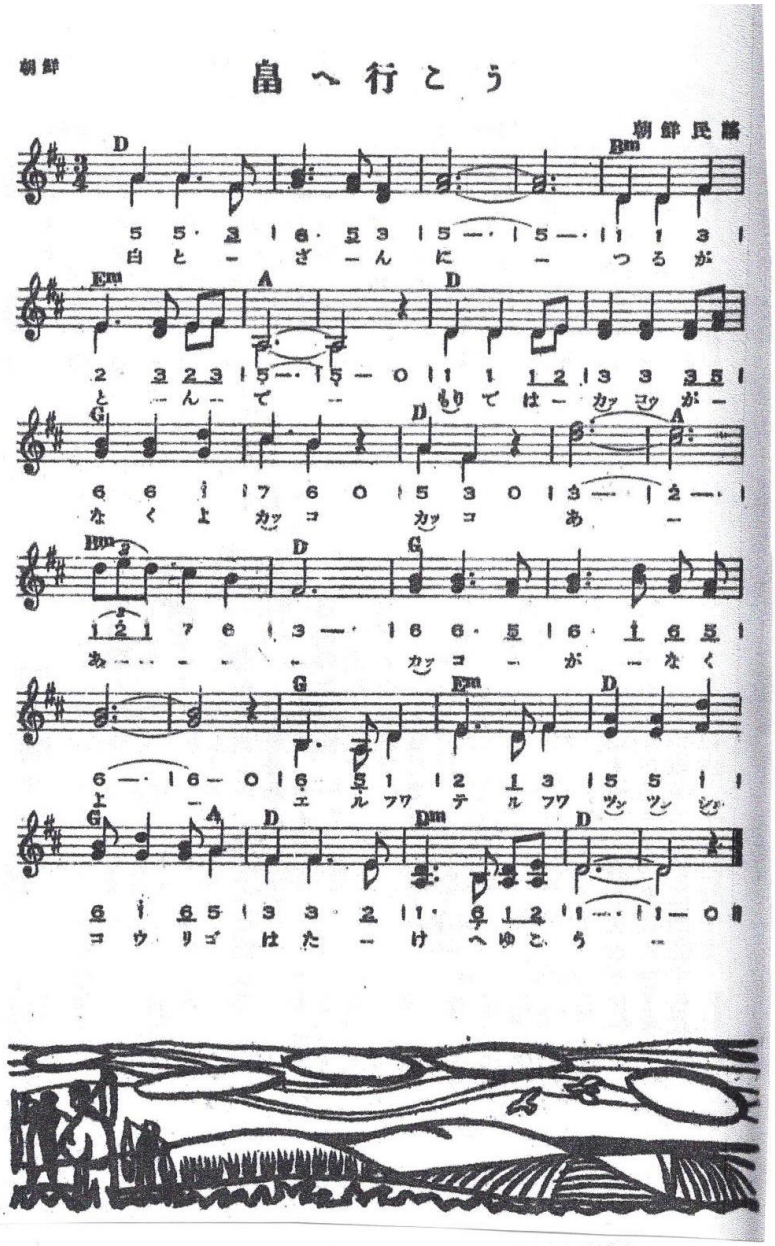
1947 年には、この他にも『海の歌』（ﾊﾟﾀﾞｴﾙ・바다의 노래 1947 年作詞金淳石〔ｷﾑ・ｽﾝｿｸ〕、作曲朴韓奎〔ﾊﾟｸ・ﾊﾝｷﾞｭ〕）、『田植え打令』（ﾓﾈｷﾞ ﾀｰﾘｮﾝ・모내기타령 1947 年作詞ﾘ・ﾋｮｳﾝ〔李효운〕、作曲李冕相〔ﾘ・ﾐｮﾝｻﾝ〕）などの抒情歌謡が相ついで作られた。

日本に紹介（１）

日本のうたごえ運動の『青年歌集』第３篇（1954 年編著者：関鑑子、発行所：音楽センター）Ｐ79-Ｐ80 に『畠へ 行こう』という題名で紹介されている。「楽譜１」興味深いのは「朝鮮民謡」として分類している点である。

白頭山、森、水車、川辺、鶴、カッコウ、柳など北朝鮮ののどかな農村風景を歌っている。

「楽譜１」



畠へ行こう

一、白頭山に鶴がとんで
森ではカッコウが鳴くよ
カッコウ カッコウ
あーーあー
カッコウが鳴くよ
（エルフワテルフワ
ツンツンシルコウリゴ
畠へ行こう）

二、種をかついで畠へ行く小父さん
のどかに水車が廻るよ
クルクル クルクル
あーーあー
水車が廻るよ
（以下繰返し）

三、川辺の柳は風になびいて
畠の樽にはこえが
イッパイ イッパイ
あーーあー
豊かな山河よ
（以下繰返し）